

■林権助 外交官。会津藩士の家に生まれ、〈維新〉で特異な少年期。対清強硬外交で対韓政策確立。

はやしごんすけ

桜田門外変・1860＝ 会津藩士の家に生まれ、

大政奉還・・1867＝ 7歳：藩校の日新館に入ったが、

明治維新・・1868＝ 8歳：〈鳥羽・伏見の戦〉で、会津藩砲兵隊長であった祖父林権助が重傷後死去し、父林又三郎も戦死したため、幼くして家督を相続した。会津籠城を体験の後、

戊辰戦争終・1869＝ 9歳：

初の日刊新聞1870＝10歳：藩が国替となったため、陸奥の斗南に移住したが、

その後、東京に出て、薩摩藩出身の陸軍少佐児玉実文に養われ、

明治6年政変 1873＝13歳：

西南戦争・・1877＝17歳：その帰省に同行して〈西南戦争〉を見聞。

大久保暗殺・1878＝18歳：

沖縄県編入・1879＝19歳：大阪専門学校に入学、

明治14年政変1881＝21歳：東京大学予備門へ転学、

国民之友始・1887＝27歳： 帝国大学法科大学政治学科を卒業、外務省に入り、交際官試補に任ぜられ、芝罘在勤副領事、

初の対等条約1888＝28歳：仁川在勤領事、

帝国憲法発布1889＝29歳：

大本教・・・1892＝32歳：上海在勤領事を歴任の後、

日清戦争始・1894＝34歳：

白馬会・・・1896＝36歳：在英国公使館一等書記官、

子規句歌革新1898＝38歳： 在清国公使館一等書記官を命ぜられ、〈戊戌政変〉により逮捕令の出ていた梁啓超の日本亡命に尽力。

Bushidou・・1899＝39歳：\*韓国駐劄特命全権公使に任ぜられ、

韓国南岸馬山浦でのロシア海軍基地設定を阻止し、韓国の永世中立に関するロシアの提議を拒否したが、

日露戦争始・1904＝44歳： 日韓議定書に続いて、

日露戦争終・1905＝45歳：\*第一次・第二次日韓協約を韓国外務大臣との間に締結して、日本の対韓政策を確立、

満鉄発足・・1906＝46歳： 清国駐劄特命全権公使に転じた後、

韓国反日暴動1907＝47歳： 功績で男爵を授けられた。

アサヒ創刊・1908＝48歳：イタリア駐劄特命全権大使、

明治天皇没・1912＝52歳：

第一次大戦始1914＝54歳：

民本主義・・1916＝56歳：\*再び中国駐劄特命全権公使に任ぜられ、同年勃発した〈鄭家屯事件〉で、日本増援兵の早期撤退を答申。

べし仁条約・1919＝59歳：関東長官、

大暴落・・・1920＝60歳： 英国駐劄特命全権大使に任ぜられ、

原敬首相暗殺1921＝61歳：

水平社結成・1922＝62歳：国際連盟総会と近東平和会議に出席、

関東大震災・1923＝63歳：

治安維持法・1925＝65歳：\*退任し、宮内省御用掛として秩父宮付となり、

金融恐慌・・1927＝67歳：ついで式部長官を経て、

満州事変・・1931＝71歳：

五一五事件・1932＝72歳：

帝人疑獄事件1934＝74歳：枢密顧問官となり、

日中戦争始・1937＝77歳：

第二次大戦始1939＝79歳：在任中に、 没した。

平凡社百科事典、